

2017岡山市芸術祭

岡山市民の文芸

第49回岡山市民文芸祭受賞作品

ジュニアの部

【詩】

◎岡山市長賞

ぼうけん

東 郷 福太郎 (就実小一年)

ぼくにはひみつきちがある。
じいじの山にぼくがつくった。
おおきいひみつきち。
ぼくはいつもひみつきちであそんでいる。
ひみつきちの上にある木には、でかいめんたまがぶらさがっている。
ぼくがみつけてきて、木にくくりつけた。
「これはからすよけの目ん玉じゃ。ようみつけてきたのう。」
じいじがほめてくれた。
ぼくはうれしかった。
むねがわくわくした。

山のむこうにはながあるんだろう。
ぼくはしらべにいった。
大きい石があった。
はい車が2だいあった。
いろんな木があった。
大きい木、ちいさい木、ねこみtainな木。
きのことしいたけもあった。
「あれはどくきのこだ。」
と、ぼくはおもった。

犬のこえがした。
ぼくはきゆうにこわくなった。
どくきのこがうごきそうだった。
こわいむしがでてきそうだった。
木がこえをだしそうだった。
ぼくはじいじのかおをおもいだして、なきそうになった。
「男ならくな。」
というじいじをおもいだした。
そうしてぼくはまたあるいた。

「福太郎ー。」
じいじのこえがした。
じいじのかおを見ると、ぼくはなきそうだったけど、男だからなかった。
がんばってかえってきた。

◇岡山市教育委員会教育長賞

あわ

越 智 幸祈郎 (岡大附中一年)

昨日水面に小さなあわを見つけた
小さな小さなあわ

またあわを見つけた
今度は水面じゃない
目に見えないあわ
あわの中には悪口がたっぷり

昨日見つけたあわは
となりのあわとくつついた
またくつついた
さらにくつついた
どんどんどんどんくつついて：

はじけた
きれいな空気があわからもれた
とてもきれいだった

もうひとつのあわ
人間のあわ
よごれている
今はまだ

でも人間は夢見ている
これから何年かかるか分からないけど
きれいな空気がつまった
大きな一つのあわが地球に見つかると
昨日見た水面のあわのように

空とぶザリガニ

野村 昊平（就実小二年）

うわっ ザリガニがとんでる
学校からかえる時
花だんで ふしぎな生きものを見つけた
ザリガニみたい
ハチみたい
見たことない虫だ
けがあつて 黄色と黒のしまもようで
ピュン、ピュンと花から花へとびまわつてた
トランペットみたいな形の小さな白い花の中
ときどきとんだまま とまつて
花のみつをすつてた

家にかえつてしらべたら
スズメガのなかまだった
名前は オオスカシバ
はねはセミみたいにとう明だ
だからとんでる時は羽が見えない

オオスカシバは ガなの
ハチみたいにとんだり
ザリガニみたいな形をしていたりして
かつこいしおもしろい
ぼくはオオスカシバみたいなとう明な羽がほしい
見えない羽すぐくはやくうごかして
ひこうきについていきたい
おか山じょうの上を見てみたい
ともだちにもおなじ羽があつたらいいな
空中おにごっこがしたい
空中リレーもしたい

【短 歌】

◎岡山市長賞

該当作品なし

◇岡山市教育委員会教育長賞

セミたちの大合唱に割り込んだメトロノームがすすしげに打つ

河 本 凜 (妹尾中二年)

赤とんぼ真つ赤の夕日の目の前でゆれて光ったガラスのつばさ

見 延 直 生 (桑田中二年)

【俳 句】

◎岡山市長賞

玄関にどしりと座る蚊遣り豚

染 宮 汐 里 (朝日塾中等教育三年)

◇岡山市教育委員会教育長賞

青い空飛行機雲を切るつばめ

山 手 結 太 (浮田小六年)

帰省する友を待ちわび予定組む

大 西 隆 広 (岡大附中一年)

【川 柳】

◎岡山市長賞

まっ白なノートに書いたぼくのゆめ

三 浦 良 太 (福田小二年)

◇岡山市教育委員会教育長賞

炎天下ボールボーイで走る僕

長 谷 川 佑 透 (岡大附中一年)

さつそうと自転車こいだ君の名は

山 脇 瑠 華 (岡大附中一年)